



# 八鹿青溪

貫徹 慎独 創造

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

令和4年4月21日発行  
第2号

養父市立八鹿青溪中学校  
兵庫県養父市八鹿町九鹿201-4

## 「貫徹坂・慎独の道・創造の庭」で自分をつくる！

本校は八鹿中学校と青溪中学校両校が大切にしていた精神を基に校訓を「貫徹」「慎独」「創造」と定めています。2年前からは生徒がよく活動する場所を「貫徹坂」、「慎独の道」、「創造の庭」と命名し、生徒だけでなく学校関係者の方にも、より深い校訓の浸透を図っています。今ではその名前も定着し、「貫徹坂」では歯を食いしばって走る生徒の姿、校舎まで続く約100mある「慎独の道」では「学校生活」に思いを馳せながら歩く生徒の姿、「創造の庭」では授業や学校行事で喜び溢れる生徒の姿が見られ、それぞれの場所でも各自が自分づくりに励んでいます。本校では今年もまた校訓の理念を学校と地域が共有する取組や具体化する取組を実践し、学校と地域との結び付きを高めながら、生徒の自立心や未来を切り拓く力を育む学校づくりを進めていきます。以下は、生徒の成長を願う思いです。



創造の庭を使って体験入部



立志(貫徹)の像

### ○「貫徹」

八鹿青溪中学校の校門の所には、少年が牛にまたがり、八鹿小学校の裏山にあるカンス岩というとてもかたい岩に向かって矢を放とうとしている力強い銅像があります。あれは青春の立志像と言って、目的に向かってどんな困難にも負けず、当たり前を当たり前に行い続け、物事を最後までやり遂げる「貫徹」の精神を象徴しています。貫徹とは「志高く、その達成のため、苦しいことがあっても粘り強く最後までやり抜く」ということです。まずは自分の今年の目標を立て、強い気持ちを持って、生活をしていきましょう。

### ○「慎独」

八鹿青溪校区の偉大な先人池田草庵先生が残された言葉です。「自分が独りであるときでも心を正しく持ち、自分に恥ずかしくない行いをする。」中学生であれば、「自分からあいさつができたり返事がきたり、早寝早起きなど、規則正しい生活を送ることができること。また、友達の良さを認め、共に勉学に励み、自分を高めるように努めることができる。」ことを説いておられます。まずは「独り(一人)であるとき自分はきちんと生活しているか。」、自分を振り返り、できることから着実に実践できる人になりましょう。



草庵先生

### ○「創造」

「貫徹・慎独」の精神を高めながら、「更に仲間と共により良い新しい自分、学校、地域、時代を創る」ということです。まずは、自分の周りにいる人とお互いに切磋琢磨し、より良い自分づくり、学校づくりに励みましょう。一人一人が、校訓の「貫徹・慎独・創造」を常に心にとどめ、それぞれが体の奥底から光り輝いて見えるような人になりましょう。



創造の庭

校訓「貫徹、慎独、創造」のもと、しっかりと学び、学校生活の一つ一つのこと、一生懸命に取り組んでください。そして、仲間と共に最高の感動を味わいながら、「確かな学力、豊かな心、健やかな体」を育み、大きく成長してもらいたいと思います。

## 第13回入学式 79名の新入生を迎えて



柔らかな春風が感じられ、花壇に色とりどりの花が咲き競う4月7日(木)に始業式、4月8日(金)に第13回入学式を挙行了しました。始業式では上級生となって誇らしげな2年生、最高学年で頼りがいのある3年生の姿が見られ、入学式では79名がしっかりとした態度で式に臨み、志高く希望に燃えた八鹿青溪中学校の新年度がスタートしました。入学式では「本校の校歌が示す、風のように世界にはばたき、世界中の人々を友とし、山のようにどこまでも高くなる精神と、本校の校章が示している未来に向かって羽ばたく翼で、今、この瞬間から皆さんの中学校生活を素晴らしいものに創り上げることをめざしてください」と伝えました。

### 入学式「誓いの言葉」

新入生代表 1年森脇麗来さん

あたたかな春の訪れとともに、本日わたしたち1年生79名は、八鹿青溪中学校に入学することができました。

本日より、八鹿青溪中学校の生徒として新しい生活が始まります。昨年実施されました「中学校登校」によって少しずつ中学校が身近に感じられるようになってきました。

中学校での生活は、小学校と違うことが多く期待もある反面、不安なところもあります。しかし、今朝真新しい制服を着た瞬間、これから始まる中学校生活への期待でいっぱいになりました。わたしは、昨年6年生として最後の運動会に臨みました。わたしの小学校では、6年生が中心となって全校生のふりつけを考えます。6年生が、アイデアを出し合ってふりつけを考え、下級生に演技内容を伝えました。しかし、なかなかうまく演技することができません。しかし、みんなで協力し努力するとだんだんうまく演技ができるようになってきました。このとき、わたしは目標に向かってみんなで助け合い、励まし合いながら努力することの大切さを強く感じました。この経験を生かし、これからも多くの仲間と共に支え合い協力して乗り越えていきたいと思っています。

校長先生をはじめ先生方、そして先輩のみなさん、今日からお世話になります。八鹿青溪中学校の生徒として、校訓である「貫徹、慎独、創造」をしっかりと実践していきたいと思っています。

地域の皆様、お父さん、お母さん、私たちの中学校生活がいよいよスタートします。支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、それぞれの夢に向かって一日一日を大切に過ごしていきます。皆様、わたしたち79名をどうかよろしくお願いします。

令和4年4月8日



クラス発表の様子



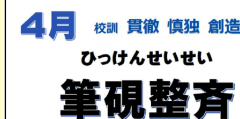
79名を代表して



誓いの言葉を直接受け取りました

### 4月の「そうあん先生の教え」

今月の教えは「筆硯整齊」。「机に向かった時は筆や硯はきちんと整える。食卓についたときはきちんと配膳してあること。これらの身近なことこそが、今すぐにやれて、自分を作っていくための学問である。」という意味です。



ふてばこなど、身のまわりのものを整えること。

### 【授業参観日についてのお知らせ】

5月7日(土)のPTA総会は書面決議となりましたが、今のところ授業参観は実施予定です。3校時(3年生)、4校時(1年生)、5校時(2年生)、5校時後(トライやる・ウィーク説明会)とし、分散形式で予定しています。詳細は後日連絡いたします。ご来校いただき、子どもたちの授業の様子を是非ご覧下さい。